

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 宮城県気仙沼西高等学校  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )  
所在地 〒 988 - 0171  
宮城県気仙沼市赤岩牧沢155-1  
E-mail chief@knisi-h.myswan.ne.jp  
Website http://www.knisi-h.myswan.ne.jp  
児童生徒数 男子 77 名 女子 188 名 合計 265 名  
児童・生徒の年齢 16歳～18歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

### (1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

テーマ：地域理解と地域交流における取り組み  
～理科巡検の実施および福祉類型における活動～

#### (1) ESDのねらい

理科行事（理科巡検）や福祉施設との交流活動などの実践をとおして、自然環境や福祉、地域との関わりについて学ぶ。

#### (2) ESDで育てたい資質・能力

東日本大震災により地震や津波の被害を受けて自然災害の怖さが強調されているが、本来気仙沼は自然と人間が上手に向かい合って共存し、発展してきた町である。改めて自然を見つめてその成り立ちや偉大さを科学的にとらえることができる視点をもった生徒を育みたい。

また、本校の福祉教育に関するカリキュラムやキャリア教育の成果を生かし、地域社会との交流をとおして協調性や共生など、人としての基本的な生きる力を育みたい。

#### (3) 今年度の ESD の概要

実践の概要

- ① 健康・福祉・地域交流に係る活動：福祉類型および社会福祉部の活動実施
- ② 環境に係る活動：理科巡検に実施

#### ① 健康・福祉・地域交流に係る活動

本校の福祉類型で地域の福祉施設や気仙沼支援学校などと交流活動を行った。また、社会福祉部は地域の施設・団体に働きかけ独自の企画・運営で様々なボランティア

ア活動を行った。

② 環境に係る活動

自然環境に恵まれた地域の中に存在する、森林や地層（断層や褶曲）、博物館施設などを観察・巡回させ、「自然の教材」「自然災害」に目を向けさせた。

理科巡検 ～三陸ジオパーク（大船渡・唐桑）を巡検する～

日時：平成29年6月29日（木）、30日（金）

方面：大船渡市立博物館およびその周辺、唐桑半島ビジターセンター、御崎遊歩道

対象：本校1年生全員（1組ずつ2日に分け実施）

内容：1）大船渡市立博物館の展示物見学および周辺環境の植物や地形を観察  
2）唐桑半島ビジターセンターの施設見学および周辺環境の観察



① の写真 地元福祉施設との交流会風景



② の写真 大船渡市立博物館の巡検風景

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項1-2, 2-1に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他（地域交流）		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	

8. その他(自由記入 )

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 学校行事として )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

教科内 (理科) オリジナルの教材  
実施要項・実施内容の解説・実施レポート記述箇所等が、盛り込まれている。

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程 (指導計画) にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。(200~300字程度)

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ユネスコスクール加盟以前より実践してきた福祉活動、理科巡検を活動の大きな柱としてきた。本校の教育課程において、福祉活動は3学年福祉類型クラスの「社会福祉基礎 (2単位)」、「コミュニケーション技術 (2単位)」、理科巡検は1学年の「生物基礎 (2単位)」の授業内容の一端を担っている。それぞれの活動は主幹教科である家庭科、福祉科及び理科の教員が中心となって、前年度の実践を踏まえて指導内容・方法の工夫改善に努めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項 1-4 に対応

地域以外の出身による教員が多く、教職年数が比較的浅い教員組織でもある本校では、主幹教科が活動の企画・調整・実践を行うが、教科会・学年会・職員会議等での報告・反省・次年度対策等を行い、主幹教科以外の教員と取り組み内容を共有してきた。また、生徒とともに研修・実践することで組織的かつ継続的に活動に取り組める体制と教員の意識づくりを維持し、年度ごとに成果を確認し、次年度への改善にいかしてきた。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

保護者への学校評価アンケートを実施している。また、学校評議委員会を実施して保護者および教職員のアンケートの結果を公開して意見・評価を求めている。評議委員からは地域施設より本校の取り組みに好評を博していること、若年者人口の流出が顕著な地域柄ではあるが地元施設の職員として就職する生徒を多数輩出している点など、昨今の厳しい街の情勢にもかかわらず貢献度が高いと評価されている。ただ残念ながら統合により本校の取り組みは引き継ぐことが難しい点が課題として上げられた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

本校は平成 29 年度をもって同地域内の気仙沼高校に統合されるため、これまで参加してきた会議・発表会等への参加を見合わせることにした。その為、発信方法・内容は活動内容の報告書やアンケート調査の回答程度にとどめている。ただ、校内における学校ホームページや会報等を通じて活動の報告を行っている。保護者からは概ね好評を博している。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など）（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

福祉類型および社会福祉部は、主に地域の介護施設や支援学校、児童施設と協力関係を気づいている。本校としては生徒の実習現場を提供してもらっている。また、福祉関連施設への就職や幼児教育関連への進学を希望している生徒のキャリア教育の場としても機能している。

社会福祉部では、行政機関（気仙沼保健所食品薬事班）と協力して薬物乱用防止の啓蒙活動推進に参加し貢献した。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

加盟当初から本校の活動をユネスコスクールの理念と重なる点があるとの観点から、何か特別なことを導入するのではなく、本校独自の活動を推進してきた。制約された時間内において多岐にわたる活動を実施しより充実させるために地域との交流を優先している。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

本校は平成 29 年度をもって同地域内の気仙沼高校に統合されるため、統合先の気仙沼高校で設定された活動計画に基づいて実施する。